

瀬崎明日香・金子鈴太郎

ヴァイオリン・チェロ デュオ・コンサート



瀬崎明日香(ヴァイオリン)
Asuka Sezaki(violin)

曲 目

- ♪ハルヴォルセン:ヘンデルの主題による
パッサカリア
- ♪バッハ: 無伴奏プレリュード
- ♪ラヴェル:ヴァイオリンとチェロのためのソナタ
- ♪サン=サーンス:白鳥
- ♪ドヴォルザーク:ユモレスク
- ♪バッハ:G線上のアリア
- ♪ピアソラ:タンゴの歴史より Café 1930
他



金子鈴太郎(チェロ)
Rintaro Kaneko (Cello)

東京藝術大学付属高等学校、同大学を首席卒業。
文化庁派遣芸術家在外研究員としてパリ国立高等音楽院大学
院修了。
宝塚ベガ音楽コンクール第1位、日本音楽コンクール第1位。
L.モーツァルト国際コンクール、ヴィニアフスキ国際音楽コンク
ール上位入賞。トリエステ国際室内楽コンクール最高位受賞。
フォーバル・スカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール優勝。
これまでに日本の主要オーケストラ、ミュンヘン放送響、ドレス
デン管弦楽団等と共演。
意欲的に欧州、国内外でソロ、室内楽、オーケストラとの共演
で活動を展開。「コバケンとその仲間たちオーケストラ」の
コンサートミストレスを務める。毎日学生音楽コンクール、日本
音楽コンクールの審査など後進の指導にも携わる。
ALMコジマ録音、VIRTUS CLASSICSより3枚のソロアルバムを
リリース。

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト
音楽院に学ぶ。
国内外のコンクールで優勝、入賞。
2003年～2007年大阪交響楽団首席チェロ奏者。
2007年～2008年大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。
現在は各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、
サイトウ・キネン・オーケストラ、弦楽合奏団「石田組」等で
活躍中。
トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席、Super Trio 3°C、
長岡京室内アンサンブル、東京パロックプレーヤーズ
各メンバー。
2022年4月より響ホール室内合奏団首席チェロ奏者。
Music Dialogueアーティスト。

2023年9月10日(日)

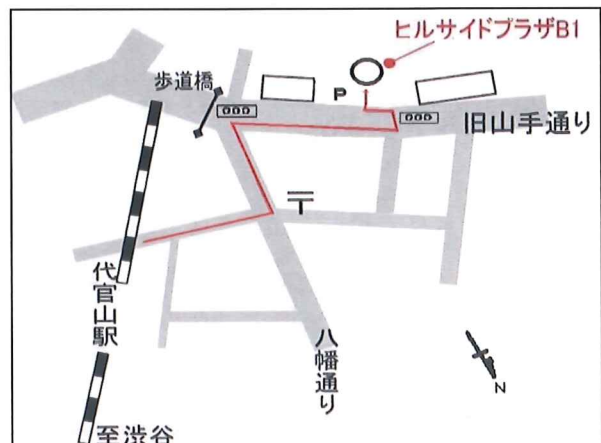
午後2時開演 (1時半開場)

代官山 ヒルサイドプラザ B1ホール

¥3,500 (全自由席)

主催「留学生の母親」運動を支える会

ヒルサイドプラザ 渋谷区猿楽町29
(東急東横線「代官山」下車徒歩5分)



このコンサートの収益は 日本で学ぶ留学生への支援と国際交流のために使われます

お問合せ 東京YWCA:03-3293-5424 会場(当日のみ):03-3780-2029



平和の種をまく

東京YWCA「留学生の母親」運動とは

目的

東京YWCA「留学生の母親」運動は、1人の会員に1人の留学生を組み合わせ、家族のような交流を土台に幅広い活動をしているボランティアのグループです。彼らの留学生生活が、実りあるものとなることを願い、お互いの信頼関係を育て、真の国際理解を深めることを目指しています。

主な活動内容

組み合わせ

日本の家庭と交流を望む留学生を4月に募集。5月に留学生1人に会員1人を組み合わせ、現在までにアジアを中心に約85カ国／地域、4,600人以上の留学生と交流をもっています。2022年度は3カ国・地域から来た20名の学生との組み合わせが誕生しました。

留学生談話室

土曜日午後1時半～5時まで東京YWCA会館サロンで開室。日本人と話す機会が少ない留学生が自由に、いろいろな国の人々と話ができるサロンです。新型コロナウイルス感染症拡大により2020年度以降オンラインで開室しています。2022年度は延べ137名の留学生が参加しました。

留学生による日本語発表会

留学生の日本語の学習を励まし、日ごろ考えていることを自由に発表できる場として、また日本語力を競い合うのではなく、互いの意見に耳を傾け、発表者と来場者がともに理解し合い、交流することを目的に実施しています。

留学生奨学金

勉学に意欲的で、かつ経済的に困難な学生に対し、留学の目的が達成できるよう奨励しています。主としてアジア、アフリカ、ラテンアメリカ地域からの私費留学生で大学(学部)、短期大学、専門学校1,2年生、月額3万円を1年間支給。YWCAの理想である差別のない平和な社会の実現を目指して、将来活躍してくれる留学生を支援することが目的です。これまでに延べ292名に支給しました。この奨学金は、個人、団体等からの指定寄付を原資としています。

沿革

- 1961.10.07 東京YWCA「留学生の母親」運動発足
- 1961.12 「留学生の母親」運動会員と留学生の最初の「組み合わせ」誕生
- 1968 留学生問題研究会(JAFSA)入会(1998年まで理事)
- 1970 東京外国語大学付属日本語学校国費生との組み合わせ
- 1973 私費留学生を積極的に受け入れ、福祉基金・資金小委員会発足
- 1979 留学生談話室開室
- 1982 奨学金制度発足。談話室日本語補習教室開始
- 1984 YWCA方式による在留身元保証人制度スタート。第1回留学生日本語弁論大会
- 1989 民間3団体(「留学生の母親」運動含む)による留学生相談ネットワーク発足
- 1990 留学生相談室開室
- 1995 留学生相談ネットワーク3団体による「阪神淡路大震災被災留学生勉学支援奨学金」実施
外国人学生の在留手続きに関する身元保証書廃止に伴いYWCA方式による在留身元保証人制度終了
- 2001 「留学生受入れ制度100年記念留学生交流功労者」表彰(文部科学省)
- 2002 国際交流奨励賞受賞(国際交流基金)
- 2008 留学生日本語弁論大会25周年記念
- 2011 50周年記念シンポジウム開催
- 2022 『「留学生の母親」運動60年～資料集 伝えつづけたこと～』発行



規模

会員数: 東京YWCA会員中、「留学生の母親」運動に参加している約150人(2023年2月末時点)

所在地: 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館 TEL:03-3293-5424 FAX:03-3293-5570